

令和元年 5 月 7 日

飯田市議会議員各位

議会改革推進会議
委員長 後藤 荘一

議会改革推進会議 令和元年・2 年度への引き継ぎ事項

1 議会改革推進会議による「議会改革・運営ビジョン（平成24年 3 月22日決定）の 実践状況の検証」について今後のあり方を検討されたい

- ・ H29年度とH30年度に、それぞれ実践状況の検証を実施した。ほとんどが完了又は実施中となっているが、新たな追加事項もある。検証のサイクルや今までの検証方法で良いのかも含めて、今後のあり方を検討されたい。

2 「議会改革・運営ビジョンの検証」に追加された項目「自治基本条例全体の検証 方法」について、研究されたい

- ・ 検討すべき項目とした理由等（追加当時）：
◇条例制定を主導した議会として、市の最高規範である条例に謳う市民(事業者)及び執行機関が役割を果たし、もって、協働による市民が主体のまちづくりがなされているかについて議論を深める必要がある。

3 議会機能の強化を目的にタブレット端末の導入を検討されたい

- ・ タブレット端末導入の論点として、①議会の活性化・議員の資質向上、②危機管理体制の強化、③議会運営の効率化の 3 点に整理した。今後、必要な機能や効果を研究し、導入に向けた検討を進められたい。

4 飯田市議会のさらなる改革に向けた調査研究

- ・ 飯田市議会改革推進会議に関する規定（平成25年飯田市議会規程 2 号）の第 2 条に定められている「地方分権の時代にふさわしい飯田市議会の在り方について調査研究を行い、かつ、不断の議会改革を進めるため」という設置目的を踏まえ、改革を推進するための調査研究をされたい。

添付書類：

- ①議会改革・運営ビジョンの実現に向けた取り組み(一覧)
(平成30年度末 状況区分整理)
- ②飯田市議会のICT活用(タブレット端末)の検討について(正副委員長 修正案)